

素牛の更なる品質向上を目標に！

道内初となる「農場HACCP推進農場」の認証を受ける

この度、田原地区の渡辺隆さんが、公益社団法人中央畜産会が認証を行っている「農場HACCP（ハサップ）推進農場」を牛の飼養管理をする農場としては道内で初めて指定を受けました。

この「農場HACCP」とは、畜産物の安全性向上を目的とした重要管理点を農家自らが設定し、それを継続的に実施・記録することにより、生産段階からの危害要因をコントロールする飼養衛生管理のことで、渡辺さんは、この考えを平成17年より導入し、牛舎の掃除や牛の健康管理に関するマニュアルを作成してきました。

現在の具体的な取り組みについて、農場出入口に消毒用マットを設置、また、各牛舎には専用の長靴などを用意し、外部からの病原菌侵入を防いでいます。その結果、病気になる牛は減少し、飼養管理状況が改善されたことに加え、

治療費をはじめとした経費削減にも繋がっているとのことでした。

また、渡辺さんはこの衛生管理について、静内産素牛の更なる品質向上、そして、農家所得向上を図るために、自身が組合長を務める新ひだか町静内和牛生産改良組合内でも積極的に啓蒙を行っています。

最後に渡辺さんから「今後、衛生管理を徹底し、購買者に安心して買ってもらえる牛を提供し続けられるよう努力していきたい。」と締めくくって頂きました。

（営農部生産課 坂下敏明）



更なる静内産素牛の品質向上へ向けて邁進を続けます

黒毛和牛素牛 市場販売成績

（平成25年5月市場～6月市場）

今年も静内産素牛の取引価格は、去勢・めすとも高い水準での取引となっています。また、6月市場では、田原地区の和田司さんが販売した去勢牛が、今年度販売された素牛の最高価格を更新しております。（※取引市場については、いずれも安平町・ホクレン北海道市場のもの。）

5月市場（5月8日開催）

販売頭数 72頭（去勢 33頭 めす 39頭）
 販売金額 34,909,350円（去勢 18,074,700円 めす 16,834,650円）
 平均価格 484,852円（去勢 547,718円 めす 431,658円）
 最高価格 去勢 663,600円（西川地区 船越英治さん販売）
 めす 654,150円（田原地区 和田司さん販売）（5月市場めすの部第2位）

6月市場（6月6日開催）

販売頭数 65頭（去勢 29頭 めす 36頭）
 販売金額 30,865,800円（去勢 15,078,000円 めす 15,787,800円）
 平均価格 474,858円（去勢 519,931円 めす 438,550円）
 最高価格 去勢 719,250円（田原地区 和田司さん販売）
 めす 520,800円（農屋地区 有（有）大川農場販売）



黒毛和牛のマメ知識 平均日齢体重とは？

市場での評価は、サラブレッドと同じく血統が大きなポイントとなりますが、この「平均日齢体重」も重要なポイントとなってきます。市場では1日当たり1kgの増体が目安となっており、5月市場で最高価格だった船越英治さんの去勢牛は、266日齢で体重351kg、平均日齢体重にすると1.32kgとなっていました。